

## 令和5年度 第3回 砂川市小中一貫教育推進委員会 会議記録

○日 時 令和5年9月27日(水) 15:30～16:10 (所要時間=40分)

○会 場 砂川市役所 2階 大会議室

○出席者

【委 員】 13人

【教育委員会】 5人

【事務局】 4人

○傍聴者 1人

○議事記録

1. 開 会

2. 挨拶 砂川市小中一貫教育推進委員会副会長

3. 報告事項

- ・(1) 特別部会の経過報告

【議事の内容(要旨)】

副会長 (1) 特別部会の経過報告  
特別部会の経過報告は、各部会長からそれぞれ説明をお願いします。まずは、小学校教育課程部会の報告をお願いします。

委員 小学校教育課程部会は、8月25日に第2回目の部会を開催し、1頁に書いてある4項目について協議を行いましたので、概要を報告します。1点目の年間指導計画の策定は、前回の小中一貫教育推進委員会で確認された通り、年間指導計画等を小学校教育課程部会で担当するということを紹介しました。部員には、レジュメにある作成スケジュールに従って、各校で教科を分担して作成することとし、内容については、オール砂川のイメージで統一した年間指導計画を作ることや、義務教育学校として「どのような力を身につけたいのか」という視点で「育成を目指す資質・能力」に向かうことを念頭に、教科書会社のホームページ等を参考にしながら作っていくことを確認しました。2点目の統一する必要があるものは、具体的に3点、「学校に置いて良い教科書類は統一できるか」「ノートは統一できるか」「学習用具の統一はどうあるべきか」について協議し、より具体的に見えたところとして、ノートは、小学校の中ではほとんど統一されており、多少の違いはありますが、一覧表などで整理すると統一ができるであろうことを確認しました。学習用具は、「よくわかる〇〇小学校」を確認し、統一されていることが分かりましたので、今後は表記の仕方などを統一することになります。学校に置いて良い教科書類は、現

状においても全校「主要4教科以外の教科書」「ドリル」「ノート」は置いて良いと統一できそうですが、今後は、タブレットの持ち帰りなどの統一が進むと思います。授業の流れ等を統一するため令和5年度から仮にスタートした「学習スタンダード」の内容は、「振り返りの場면을より具体的にすれば良い」との意見もありましたが、現状で支障がないため、この通りの内容で進めたいと思います。今後は、各学校間での授業交流として、各学校の授業の様子を見る機会を設けるほか、オンラインによる配信などにより、お互いの授業の様子を確認できるようにして、授業作りの一体感や、学習スタンダードを通じた統一感などを認識してもらうようにします。次回の会議では、保護者にも「学習スタンダード」の内容を分かりやすく伝えるための保護者向け文書の作成や、授業と家庭学習をどのように繋げていくかを補足して説明できるようにしたいと思います。

副会長 只今、小学校教育課程部会より報告がありましたが、皆さんから、質問や確認しておきたいことなど、ございませんか。それでは、続きまして、小学校連携事業部会の報告をお願いします。

委員 8月23日の第3回小学校連携事業部会で、今年度の合同遠足の最終確認をし、10月20日に行われる5校交流会の概要を協議しました。合同遠足は、天候の影響により一週間延期になり、9月8日に実施され、児童アンケートは、5・6年生ともに「楽しかった」「まあまあ楽しかった」という児童が90%を超えており、「交流できた」「まあまあ交流できた」という児童も90%を超えているので、概ね目標は達成されたと感じています。ただ、具体的記述を見ると、交流や統合、中学校で一緒になることに対して抵抗がある児童が見られる状況にあるので、そういった子ども達が「どのように克服できるか」というのが課題になってくると思います。また、合同遠足の事業に対する反省は、各校から集まってきただけで検討等はされていません。明日の部会では、5校交流会の最終確認になりますので、11月の中間反省で具体的に合同遠足の事業に対する反省を行いたいと考えています。

副会長 只今、小学校連携事業部会より報告がありましたが、質問など、ございませんか。それでは、次に、小中連携事業部会ですが、前回の推進委員会から本日まで、会議は開催されていませんが、第2回目のチャレンジ週間が行われていますので、報告をお願いします。

委員 8月21日付で「第2回・家庭学習チャレンジ週間について」のプリントを発送しました。今回の発送文書は、前回の保護者アンケートの中で「家庭学習チャレンジ週間のねらいが不透明である」「家庭学習の定義がはっきりしない」という声をいただきましたので、その声を反映すべく、ねらいと定義を明らかにしました。次回の部会は、10月12日を開催予定とし、中学校の乗り入れ事業と家庭学習の今後の方向性を検討したいと思います。

副会長 只今、小中連携事業部会より報告がありましたが、質問など、ございませんか。それでは、次に、施設建設部会ですが、今年度の役割である基本設計の策定を既に

終えていますので、報告事項は特にないものとしてよろしいですか。

委員 大丈夫です。

質疑、意見等 特になし

#### 4. 協議事項

- ・(1)「砂川市小中一貫教育の目指す姿」策定に係る児童生徒に対するアンケート調査

##### 【議事の内容（要旨）】

事務局

・(1)「砂川市小中一貫教育の目指す姿」策定に係る児童生徒に対するアンケート調査

令和5年度第2回砂川市小中一貫教育推進委員会において、「砂川市小中一貫教育の目指す姿」の策定に当たっては、「標準学力検査」や「全国学力・学習状況調査」等の結果から児童生徒の実態を把握するとともに、児童生徒に対するアンケート調査や教職員の意見を踏まえて「育成を目指す資質・能力」を設定することが確認されました。ただ、前回会議時に示した児童生徒の実態に係る基礎資料には、今年度の「全国学力・学習状況調査」の結果が反映されていなかったため、今回改めて、最新版として資料を用意しましたので、説明します。本体調査は、小中学校とともに、全国平均との差が開いており、学力向上は依然本市児童生徒の課題と言えます。ただ、質問紙調査から、「知」に関わり、小学生の「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表している」と「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」の項目が大きな伸びを見せており、各小学校で「協働的な学び」の充実が図られていることが分かりました。また、「徳」に関しては、小中学校ともに「自分には、よいところがあると思う」の項目に伸びが見られ、「将来の夢や目標を持っている」、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」の項目で全国平均を上回るなど、自尊感情や思いやりといった点に児童生徒の変容が見られました。ただ、経年変化で見ますと、全体として大きな変化がないことから、「育成を目指す資質・能力（案）」は前回と同内容としました。児童生徒に対するアンケート調査ですが、議案に記載の目的のもと、9月29日（金）から10月13日（金）までの期間で、小中学校の全児童生徒を対象に行うこととします。方法は、タブレット端末を活用してアンケートフォームより回答する形を考えており、期間中の学校実施日に、各学級で児童生徒に文書を配布していただき、QRを読み取ることによってアンケートフォームに移り、子ども達には学校名、学年、名前、アンケートの回答を選択・入力してもらおうと思います。内容は、小学1～3年生用、小学4～6年生用、中学生用の3種類を用意しています。すべての学校の入力が終わった後、アンケートの集計結果を取りまとめたものは、今年度、「学校種間連携サポート事業」の指定を受けている学校の教員にご覧いただき、日々、直接子ども達と向き合っている指導者からの意見もいただこうと思います。

そうした段階を経た最終的な結果は、次回以降の砂川市小中一貫教育推進委員会で報告します。なお、保育所、幼稚園の協力を得るなどして、来年度に就学する児童とその保護者を対象に同様のアンケート調査を実施する予定です。

副会長 只今、協議事項（１）の説明がありましたが、質問や意見などございませんか。

委員 アンケート調査の、１から３は学力に係ること、４番から８番は道徳性に係るもの、９番から１２番は健康・安全性に係るもの、というカテゴリーだと思いますが、１３番から１６番はどのようなカテゴリーなのか教えてください。

副会長 事務局、お願いします。

事務局 上から知・徳・体とカテゴライズしていますが、１３番から１６番は、砂川市の教育目標の中にある「郷土」に関すること、砂川市がこれまで子ども達の教育に係わり取り込んで来たこと、今後子ども達に身につけさせる必要があると考えられることを厳選した内容となっています。

副会長 他、質問や意見ありますか。

委員 この中から任意の４つを選択するというので、アンケートなので、恣意的な思いが入らない方が良いと思いつつ、小学校低学年の子が回答する時に、多分最後まで読まないで、上の方だけ読んで回答してしまうのではないかと思いました。アンケートの結果がある程度「こうであってほしい」ということがあれば、予め項目を４分割にして、その中から１つずつ選ぶという方法もあると思いました。いずれにしてもメリット・デメリットがあると思うので、その辺り何か検討した経緯とかがあれば教えてください。

副会長 事務局、お願いします。

事務局 前回の会議以降、アンケートを作成し、知・徳・体・郷土のカテゴリーで質問項目を設けて４つ選ぶとした時に、それぞれのカテゴリーから１つずつ選択させた方が最終的に「資質・能力」の４つの部分に振り分ける時にやりやすいとも思ったのですが、それは少し恣意的ではないかと思いました。また、事務局内部でも選ばせ方のメリット・デメリットを含めて検討し、最終的には、恣意的にはせず、子ども達自身が１６項目の中から、学校生活を通じてどのような力を伸ばしたいと思っているのかを知りたいということから、あえて区切りは設けないアンケートとなりました。例えば、子ども達の思いとして、徳に関する部分を強く望んでいるという傾向があった場合、全国学力学習状況調査のように、徳の部分が経年で見ても数値的に全国を超えるような傾向に繋がっているという部分が見え、今後策定する育成を目指す「資質・能力」を考える時に、子ども達が「学校で、どのような力をつけたいか」「どの部分に願いを持っているか」ということを把握する基礎資料にもなると思い、今回のアンケートは、あえて「４つのカテゴリーから１つずつ」という選

択方法を取らないとした経緯がありました。

副会長 他、質問や意見ありませんか。

委員 アンケートの対象者で、保育所と幼稚園は、来年度に就学する児童とその保護者を対象としていますが、現在の学校の保護者や地域の願いは聞かないのですか。

副会長 事務局、お願いします。

事務局 保育所・幼稚園の対象は、「子どもと保護者」と言いましたが、保育所・幼稚園ではタブレットなどで読み取って子ども自身に回答させることは難しいので、プリントを保育所・幼稚園から保護者に配っていただいて、お家で子どもと保護者が一緒に回答することを想定しており、基本的には、子どもの思いをアンケートで吸い上げ、受け止めるといった趣旨で考えているので、現在在学されている児童生徒さんの保護者、または地域の人にアンケートを行う想定はしていません。

副会長 他、質問や意見ありませんか。

委員 11番の「じょうずに運動ができて『やった!』と思うことができる力」の『やった!』というのは『できた』という意味ですか。

副会長 事務局、お願いします。

事務局 苦手な運動に取り組んで、できたことに対して「できた」という思いを味わう想定です。

委員 1・2年生の児童の中には先生が説明しながらアンケートを回答しなければならない子どももいると思いますので、「やった!」という言葉をあらゆる先生が同じ感覚や思いでアンケートができる言葉に変えた方が良いと思いました。

副会長 事務局、お願いします。

事務局 1年生から3年生用のアンケートは、担任の先生が説明しながら子ども達に答えていただく必要があると思いますので、「やった!」という言葉は、学校に配布するまでに、もう少し分かりやすい言葉を検討したいと思います。

## 7. その他

- ・（１）令和６年度の予算要求に向けた小中一貫教育推進に関する事業の調査

## 【議事の内容（要旨）】

事務局	<ul style="list-style-type: none"><li>・（１）令和６年度の予算要求に向けた小中一貫教育推進に関する事業の調査</li></ul> <p>順に沿って説明しますが、まず（１）趣旨は、例年 11 月頃から翌年度の予算作業が進められますので、市の財政サイドへ予算要求するにあたって、令和６年度の小中一貫教育推進に関する事業の内容や必要な経費を把握させていただきたいと考えていますので、各特別部会の部会長に協力をお願いします。（２）方法は、特別部会のうち、施設建設部会以外の３つの部会の部会長に、令和６年度に予定している事業を調査書に記入し、提出をお願いします。（３）対象とする事業は、令和６年度において小中一貫教育の推進や学校再編に関連して予定している事業のうち、予算を伴う事業ですが、令和６年度の事業は特別部会の中で決定も、話し合いもしていない部会が多いと思います。そういう段階で構いませんので予測・想定される事業は全て出させていただきたいと思います。というのも、実は今年度、予算段階では想定し得なかった取り組みもありまして、校長先生・教頭先生から教育委員会に「バスを使って良いだろうか」と問合せを受けているのですが、一部は何とかやり繰りしているものの、なかなかリクエストにお応えできていないという歯がゆさがありまして、来年は少しでもスムーズにしたいと考えて、この度、このような調査をすることにしました。全てが予算化される訳ではありませんが、できるだけ幅広く検討をお願いします。次に、児童生徒がバス等で移動する行事が多いと考えられますが、スクールバスは利用できないものとして、バス・ジャンボタクシーの台数を見込んでください。最後に、令和４年度から行っている２校・３校が合同で行う学校間連携事業ですが、これは別途、各学校宛てに調査を依頼する予定ですので、対象とはしません。次に（４）様式は別添８のとおりで、近日中に各部会長にメールでお送りします。（５）提出先は、メール返信で大丈夫です。（６）期限は 10 月 31 日までとさせていただきます。（７）その他は省略します。実際のところ、部会ごとに見ていきますと、小学校教育課程部会は、今のところ特に行事的なものは予定されていけませんので、「特になし」とするか、または何か新たに取り組むアイデアがあれば記入をお願いします。小学校連携事業部会は、５校交流会と合同遠足のバス代がメインですが、「何年生以上で行うか」がポイントになると思います。これは後日、個別に相談させていただきたいと思います。小中連携事業部会は、中学校教員の乗り入れ事業が予算を伴うものですが、来年度は何年生が何回、中学校に行くのか、来てもらうのか、といった検討が必要になると思います。こちらも、別途、お話しさせていただきたいと思います。この他にも、各部会長の皆さんが、今後に向けて考えている取り組みがありましたら、教えていただきたいと思います。</p>
副会長	只今、その他の（１）の説明がありましたが、質問や意見ありませんか。
委員	小中連携事業部会の取り組みと本校の学校体制のことにも係わってくるのですが、小中一貫教育を推進するための加配措置というのが北海道教育委員会で予定されており、来年度、中学校では、加配の申請を行って、全ての小学校５年生の外国

語の授業に、中学校の英語の免許を持った教員が実際に行って、週2時間になっていますので5校で週10時間、35週すべてで英語の教員が授業を行うということで加配申請を行う予定です。加配が付くかどうかは、まだ分かりませんが、おそらく砂川市のこれまでの取り組みからすると加配措置される可能性が極めて高いと思います。加配が付くと、中学校の教員が5校に出向く形になり、次年度は、6年生の乗り入れ授業で全ての小学校に行きますので、5年生と6年生が中学校の教科担任から指導を受けて、そのまま中学校にスライドしていくという小中の接続の部分と、5・6年生の一部教科の教科担任制を先取りして来年実施しようと思っています。加配が付かないとなれば、今年と同じようにそれぞれの小学校から中学校に来るということで、タクシー等の予算措置をしなければならないと思います。最終的には部会長が「どのように判断するか」だとは思いますが、中学校の加配の状況もあるので、その辺をどうしたら良いか教えてください。

事務局 今年、小学生が中学校に行って授業を実施しましたので、加配が付かなかったことも考えて、来年も中学校に行くという方向で考えてください。

副会長 他、質問や意見ありませんか。それでは、各部会長の協力をよろしくお願ひします。以上で予定されていた案件は全て終了しましたが、皆さんから何か話し合っておきたいこと、確認しておきたいことなどありませんか。

それでは最後に、次回の日程ですが、各部会の取り組み状況や学校行事等を考慮しながら、後日、事務局からお知らせしたいと思います。以上をもちまして、第3回小中一貫教育推進委員会を閉会します。皆さん、大変お疲れ様でした。

以 上